昭和56年 第762号
10月4日

市報 にいがた

市の人口
		前月比
人口	454,032	(+386)
男	222,732	(+189)
女	231,300	(+197)
世帯数	144,515	(+ 99)

56年8月末日現在

発行日 毎週日曜日
発行所 新潟市役所 新潟市西堀通6番町866 電話代表(28)1000
編集人 高橋甲子（担当企画部広報課）
印刷所 ㈱第一印刷所

新潟流通センター

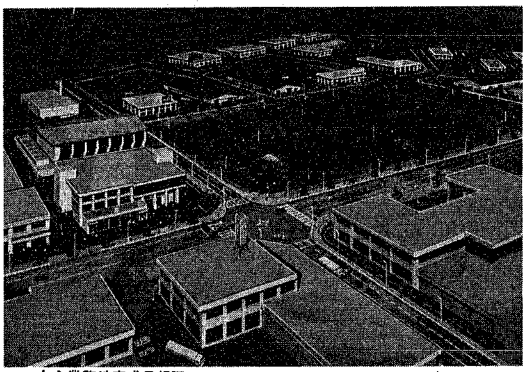
新しい街づくりへ急ピッチ

～進出企業を募集～

新潟市が坂井輪地区で建設を進めている「新潟流通センター」は、盛土造成工事も終わり、現在、上・下水道などの供給処理施設や道路築造・終末処理場が急ピッチで進められています。

このたび、流通センターへ進出する企業の用地に若干の余裕がありますので、新しい企業と流通センター会館のテナントを募集します。

流通センターの総面積は六十一ヘクタール、市が建設している流通業務団地は四十七・六ヘクタールです。来年三月には全分譲地の七〇%、のこり三〇%は五十七年度の二回に分けて分譲します。ここに進出できる企業は卸売業・運輸業などで、約百社分の敷地を分譲します。このうち、約八十社の進出がすでに決まっています。各社とも建物の設計を行っており、五十七年後半には営業を始める企業も出てきます。



中心業務地完成予想図

進出企業 テナント＞募集

◆**流通業務団地** 分譲は運輸関係、卸売関係の企業で組織される二つの事業協同組合に一括して行われます。団地に進出を希望される方は、いずれかの事業協同組合に加入していただくことになります。進出される企業は土地代金と施設建設費を対象とした長期低利資金の借入れが受けられます。

第一次分譲価格（来年三月）

卸売用地…一㎡当たり三万四百円（三・三㎡当たり十万三百二十円）

運輸施設用地…一㎡当たり二万六千六百円（三・三㎡当たり八万七千七百八十円）

問い合わせ 新潟流通センター卸事業協同組合（☎24―一五三三）、新潟流通センター運送事業協同組合（☎47―六四六〇）、市流通業務課（☎28―一〇〇〇）へ。

◆**流通センター会館のテナント** 流通センターの中央に公益的施設として、官民出資による会社「流通センター会館」を来年十一月ごろまでに建設する予定です。

入居テナント 歯科診療所、食堂・喫茶、理容店

問い合わせ ㈱新潟流通センター（新潟商工会議所内、☎24―〇七四四）

◆**関連企業用地** 土地区画整理組合が建設している関連企業用地の保留地の分譲（事業費を生みだすための分譲）についても、現在募集中で分譲価格は造成費の詰めを行ってから決定されます。

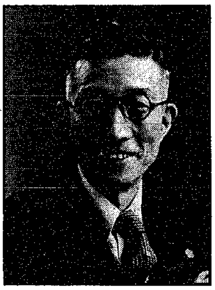
問い合わせ 流通センター土地区画整理組合（☎60―五六九六）

新潟流通センターとは

卸売業、運輸業などの流通関係施設を集約し、調和のとれた一つの新しい街とするため、公園や公益的施設（銀行、診療所、郵便局、など）を計画的に配置した、いわゆる流通業務市街地のことです。この建設により、中小企業の育成を図るとともに市街地の交通混雑の緩和とあわせて地域開発の促進に役立てようとするものです。新潟流通センターには、市民の憩いの場としても利用できる一・八ヘクタールの公園や広々とした幹線道路（都市計画道路、幅員二十メートル）などを施行し、そこに植樹を行い緑化を図ります。

初代民選新潟市長

村田三郎氏逝去



元新潟市長村田三郎氏＝写真＝は、さる九月十六日、脳こうそくのため、入院先の済生会新潟病院で逝去されました。八十九歳でした。

謹しんでごめい福をお祈りいたします。

なお、告別式は次のとおり行われます。

日時 十月十三日午前十時～

式場 新潟グランドホテル、ピカデリーホール（下大川前三）

明治二十五年長岡市に生まれ、大正四年慶応大学を卒業。自宅は湊町通二ノ町二六〇九。戦後まもなく新潟商工会議所会頭を務めたあと、昭和二十二年初の民選新潟市長に当選、三十四年まで三期十二年間在職。この間、戦後の混乱した市民生活の建て直しや、新潟大火の災害復旧、在日朝鮮人の帰国業務などに尽力。その後、新潟信用金庫理事長、県社会福祉協議会会長など、幅広い活動をされました。

市職員（大卒者以外）募集

締め切りは10月9日

試験日 十月十八日（日）

試験場 市立高志高校

試験の内容 (1)第一次試験 筆記試験「教養、専門（土木）、作文（一般事務）」、適性検査 (2)第二次試験 第一次試験合格者に後日実施

職種 一般事務A（男子）、一般事務B（女子）、土木

受験資格 昭和三十五年四月二日から昭和三十九年四月一日までに生まれた人

試験案内と応募用紙 市人事課で差し上げています。郵送希望の人は、あて先を明記し、六十円切手をはった返信用封筒を同筒して、封筒に「受験用紙」と記入し、市人事課（〒951、西堀通六―八六六）へ

申し込み 十月九日（当日消印有効）までに市人事課へ

問い合わせ 市人事課（☎28―一〇〇〇）

今日市民と市場の日

～中央卸売市場～

日時 十月四日（今日）午前九時半～午後一時

会場 中央卸売市場（☎84―五一一一、下所島）

※果実試食コーナー、模擬競売、ゲームコーナー、食品・日用雑貨・花木の即売―など

市勢あれこれ

町名別人口

新潟市内の町名数は現在八百。明日から施行される新町名を加えると八百七▼このうち町名別人口の最も多いのが坂井で、八千六百五十四人、続いて姥ケ山、小針の順。また、まったく住民登録のない町名が東臨港町、北浜通二番町―など十七あります。住民登録一人というのが中島▼ちなみに地区別人口では坂井輪が七万三千九百三人でトップ。逆に最も少ないのが両川の四千五百二十三人。（人口数は六月末の数字）

今週号から新企画を掲載

五十六年度の下半期に入り、"市報にいがた"では、十月四日号から「市勢あれこれ」、「三分間体操」、「お先に拝見安宅安五郎展」など、新しい企画物をいくつか用意し、市民の皆さんのご要望に応えていきます。また、「みんなの広場」欄を一層充実するため、市政への質問、要望、意見など皆さんの積極的な発言をお待ちしています。質問には、必ず誌上でお答えいたします。住所、氏名、電話番号を明記（紙上匿名も可）し、市広報課へ

お先に拝見

～安宅安五郎展～

～1～

新潟市出身の画家安宅安五郎の絵百二十点が、さる四月に、安五郎の四男安宅慶四郎さんから新潟市に寄贈されました。その作品の一部を、今回から八回シリーズでご紹介します。なお、絵の解説等は富川潤一さんにお願いしました。

京都、清水寺

富川潤一先生 安宅安五郎の門下生として学ぶ。現在、日本美術家連盟会員、新潟県美術連盟常任理事などを務める。昭和五十年紺綬褒章を受章。

富川先生

安宅安五郎先生の芸術と人格にあこがれて、今から五十何年も前のことですが、越後から徒歩で、今でいうヒッピーのような格好で上京、先生の門下に加えていただき、さっそく玄関番（書生）として先生ご一家と起居を共にして勉強することになりました。先生は、当時帝展の審査員として活躍されておられました。

先生の奥さまの父上は、新潟市出身の日本画家尾竹越堂（越堂の雅号は伊藤博文が与えたもの）です。そんな因縁もあったのでしょうか、先生の画業の出発は日本画からでした。しかしいくばくもなくして、東京美術学校の油絵の教室に入られました。

安宅芸術の根幹には、東洋画のもつ静謐な姿勢をうかがうことができるのも、右のようなしだいかと思われます。

富川 潤一

園芸センター催し物

会場 園芸センター
定員 各50人（先着順）
申し込み 電話で市園芸センター講習会係（☎86―1034）へ

◘**庭木講座**
日時 10月10日午後1時15分～3時15分
テーマ 秋の庭木の手入れ
講師 石川昇造氏（新潟緑化保全協会）

◘**鉢物講座**
日時 10月11日午後1時15分～3時15分
テーマ 秋～冬の鉢物の手入れ
講師 市園芸商協会会員

―◇―◇―◇―

◆**秋の植木市と小品盆栽展**
日時 10月10・11日午前9時～午後4時半
会場 園芸センター
出店数および出品 市内の園芸店・植木店…12店、小品盆栽…15席
※小品盆栽の相談コーナーがありますので鉢物を持参の上ご相談ください。

10月のボランティアビューロー案内

問い合わせ 市ボランティアビューロー（八千代1、☎43―4370）へ

◆**ボランティア相談**（活動紹介など）
日時 日曜、祝日を除く毎日午前9時～4時

◆**木曜サロン**（若い人向け）
日時 毎週木曜日午後6時半～8時半

◆**ジュニアサロン**（中・高校生）
日時 毎週土曜日午後1時半～3時半

◆**手づくりを楽しむつどい**
日時 毎週火・木曜日午前10時～午後2時

〈**点訳技術初心者講習会**〉
日時 11月8・15・29日、12月13日（各日曜日）午後1時～4時
会場 市社会福祉センター
用具代 1,000円
申し込み ボランティアビューロー（☎43―4370）へ

おもな目次

◆信濃川に川エビを放流（二面）
◆小学校体育祭写真特集（三面）
◆新潟海岸に宵待草を（四面）
◆市長随想（四面）